



## 花見か？鳥見か？

- サクラ花芽消失のなぞ？ -



### こんなに違うサクラの開花

左の2枚の写真を見比べてください。どちらも森林総研東北支所にある同じサクラの樹を春に写したのですが、上が2004年、下が2006年のものです。上の写真ではほとんどサクラの花がついていないのがよくわかります。

折もあり、NHK朝の連続テレビ小説「どんど晴れ」で有名になった、岩手県雫石町の小岩井農場の「一本桜」(エドヒガン)が、今春は花の数が少なく、訪れた人たちをガッカリさせたというニュースがありましたが、東北各地の桜の名所でも花が寂しかったという声が聞かれました。そんなとき、樹の下には芽鱗片が多数落ちているのがわかります(下写真)。



### 🐼 何による仕業？

これは、ウソ *Pyrrhula pyrrhula* という小鳥が冬から春にかけて花芽を食べてしまったことがおもな原因であると考えられます。ウソは、多くの種類や品種のあるサクラの中でもソメイヨシノを特に好みます。ソメイヨシノは、全国の公園や並木に数多く植えられているので、ウソの多い年には各地で被害が話題になります。

しかし、岩手県盛岡市の市街地にある「石割桜」(エドヒガン)はウソに食べられたという話を聞きません。ウソはあまり人を恐れないのですが、やはり人通りの多い場所は避けるようで、東北支所の並木がウソに食べられた年でも、東北支所近隣の東北農業研究センター正門の並木は人通りが多いためか沢山の花を付けています。

## 🐦 ウソとはどんな鳥？

大きさはスズメ位で、鳴き声は「フィーフィー」と口笛に似ており、「ウソ」という名前も口笛を意味する古語に由来しています。日本では本州中部以北の亜高山の針葉樹林で繁殖し、冬期には低地の林に数羽から十数羽の群れで生息しています。北方から冬鳥として渡ってくるものもあり、2006年の冬から2007年の春にかけて関東地方南部などでは、サハリンや中国東北部で繁殖する別亜種のアカウソが多く観察されたようです。



ウソのオス( )とメス( )

## 😬 なぜ被害が出る？

ウソは、昆虫類も食べますが、草木の種子や木の芽をとくに好みます。秋に亜高山や北方から山地や低地の林に飛来しますが、そこでの食物が少ないと、公園や並木でサクラの花芽を食べたり果樹園でウメやモモの花芽を食べたりするのはです。東北支所の桜並木にも毎年12月から翌3月にかけてウソが飛来し花芽を食べますが、飛来数が多かったり繰り返し食べられた年には寂しいお花見になります。



北方系の亜種アカウソ

## 🌸 被害を回避するには・・・

ウソによる花芽の被害を回避するためには、果樹などの殺菌剤であるペフラン1kgを15リットルの水で薄めた液を動力噴霧器で枝に散布することが有効と言われています。ウソの飛来状況や食べられた花芽の鱗片が地面に落下していないかなどを定期的を確認し、必要に応じて適切に対処することが大切です。また、山にウソの好む実や芽の付く草木を殖やしたり、桜を植栽する際には被害を受けにくい種類や品種を選ぶなどの工夫も必要かも知れません。

## 🐦 ウソと仲良く・・・

美しい姿に加え、口笛のように優しい鳴き声で、古来より日本人に愛されてきた鳥で、天満宮の「鸞替(うそかえ)：参詣人が木製の鸞を替えあう行事」などでも親しまれてきました。日本人特有の感性で、ウソの飛来の多い年には、「鳥見(バードウォッチング)」や「葉桜」を楽しむというのはいかがでしょうか？

### 森林総合研究所東北支所

〒020-0123 盛岡市下厨川字鍋屋敷92-25  
TEL 019-641-2150 FAX 019-641-6747  
ホームページ <http://www.ffpri-thk.affrc.go.jp/>

生物多様性研究グループ 鈴木 祥悟